

再エネ海域利用法における洋上風力発電の推進に係る申し入れ

8月27日、三菱商事株式会社は、千葉県および秋田県で計画している洋上風力発電からの撤退を表明した。

関係漁業者・JFは、安全・安心な水産食料を国民に供給するというこれまでの社会的使命に加え、新たなエネルギーを確保していく国の政策に対し、協調的な立場から取り組んでいくことが求められていることを認識し、幾年にわたって真摯な協議に臨み、調整に協力をしてきた。

各地の案件形成は、地域における合意形成の上で、それぞれの地域において判断されるものであり、事業性の評価・撤退はあくまで事業者の判断ではあるが、このたびの撤退は、当該関係漁業者のみならず、他の地域において真摯に向き合っている全国の関係漁業者に不安や疑心暗鬼を惹起しかねない事象である。

また、これまで積み上げてきた、国が進める自然再生エネルギー政策への信頼にも影を落としかねない。

ついては、国において、こうした漁業者の思いを反故にしないためにも、事業者の指導や関係漁業者との調整等、最初の区域指定の準備段階から運転終了後に至るまで主体的に事業を主導し、関係地域において混乱が生じないように、責任をもって対応するよう改めて強く求めるものである。

2025年9月1日

全国漁業協同組合連合会
代表理事会長 坂本雅信

